

# 浄土真宗本弘寺婦人会だより

平成20年3月 第25号

## 苦しみ 辛さに 堪えて たえて 人は 人になる

赤穂藩主浅野内匠頭は、吉良上野介の仕打ちに堪えることが出来ず、江戸城城中松の廊下で刃傷に及んでしまい、浅野家は断絶、自身は切腹、家臣に多大な影響を与え、大石良雄(内蔵助)を中心とした47人の藩士により、主君の仇を討つと言う赤穂事件にまで発展したのです。たった一人の堪えることの出来なかった心の働きがこのような大きな事件になることもあるのです。

昔の人も今の人も、肉体の苦痛には堪えられても、精神的な苦痛に堪えることは難しいと言われます。精神的な苦痛に堪えることが難しいのは今も昔も人間性の上では変わらないと思いますが、環境的には昔と今では大きな違いがあると思うのです。便利で文化的な生活に恵まれた今の私達は、幸せな反面、何かに堪える、我慢をするということが出来なくなってしまったのではないのでしょうか。冷暖房完備の生活では暑さ寒さに堪えることなく快適な生活が送れて、それが当然のことに思ってしまうのです。夜中でも欲しい物があれば明日まで待つことなくコンビニエンスストア等で手に入るのです。昔は好きな野球観戦のために球場まで出かけたのにもかかわらず、雨天中止のアナウンスにより残念ですが我慢して帰路についたこともありました。今ではドーム球場のお陰でどんな悪天候でも予定通り試合が行われるので天候の心配も要らないのです。大変便利な世の中ではありますが、これでは我慢する、堪える、時には諦めるという精神が失われてしまうのは当然ではないのでしょうか。

今年も春の彼岸がまいります。どなたも先祖の墓参りに出かけ、墓を掃除され、お花、お線香を手向け、手を合わせてお参りをされ、それで良しと満足されるようですが、彼岸とは私の理想の世界であり、迷い苦しみの世界である此岸に対する言葉であり、私の理想である覚りの境地に到ることが大事なのです。仏教では彼岸の世界に到るためには六波羅密という六種の実践行が大切であると言われます。その六種のうちのひとつが忍辱であります。忍辱とはあらゆる肉体的、精神的な苦痛に堪え忍ぶことでもあります。幸せな理想の生活を営むには何事にも堪え忍ぶことが大切であるということなのでしょう。しかし昔の人と比べ、恵まれた夢のような文化生活を送っている私は、ささやかな苦痛にも堪えることが出来ず、すぐに怒りの炎を燃やし、他人と言い争いをしてしまうのです。悲しいことです。情けないことだと反省しながらも繰り返してしまうのです。どうしたらよいのでしょうか。春の彼岸を迎え、仏法聴聞の中に如来の声を聞かせていただき、静かに考えてみたいものです。合掌

住職 高島宣明

皆様すでにご存じのことと思いますが再確認なさせていただきます

私達の宗旨は浄土真宗です。

御本尊 : 阿弥陀如来

正依の教典 : 仏説無量寿経(大経)

仏説観無量寿経(観経)

仏説阿弥陀経(小経)

宗祖 : 親鸞聖人

宗祖の主著 : 顕浄土真実教行証文類(教行信証)

宗派名 : 浄土真宗東本願寺派

御本山 : 東本願寺

所在地 : 東京都台東区西浅草1-5-5

おてつぎ寺 : 本弘寺



## お念珠を持ちましょう

念珠はいつの時代も仏教徒において最も尊重すべき礼拝の法具として伝承されてきました。日頃の生活の上で我が身の心身を慎み、またご恩を尊び、仏前に礼拝する際の合掌礼拝という信仰の現れとして念珠を持つことは大事なことです。

## 親睦旅行開催！参加者募集中です！！

新緑の候5月8日～9日に1泊2日の親睦旅行を計画いたしております。平成23年に親鸞聖人750回忌御遠忌法要がありますが、その前に親鸞様の足跡をほんの少しでも辿る旅が出来ればと思い、計画を立てておりますので皆様どうぞお友達をお誘い合わせてご参加くださいますことをお待ちいたしております。お申し込みは4月8日までお願いいたします。詳細はお尋ねください。

## 婦人会で一緒にしませんか！？

婦人会では毎月8日定例法話会で1時より2時まで法話を聞かせていただいたあと、客殿にて3時頃までお茶とお菓子を頂きながら座談会をいたしております。会費は月額500円です。楽しい会です！あなたのご参加をお待ちしております！

## 今後のお知らせと予定

日付	本弘寺行事	婦人会行事
4月8日	花まつり・邦楽演奏会	花まつり
5月8日～9日		一泊親睦旅行
6月20日	午後1時半より永代経法要	午前11時より総会
8月13日～16日	16日午後1時半よりお盆法要	仏花販売・お茶接待

